

ハンドボール



日本ハンドボール協会公式記録用紙

No. 82

No. BI

(16名用)

スローオプテーム 茨城県

A	茨城県	大阪府	B
合計	18	31	合計

大会名	第67回国民体育大会 新潟清流国体		
平成	24年	10月	5日(金)
場所	新潟県・世界生活文化センター		
種別	少年	男(女)	第1回戦 準決 決 リーグ

A 飯田 健一 7m TC 白鳥貴子 B

A 茨城県	警告	退場	失格	チームタイムアウト		
				前半	後半	合計
役員A 飯田 健一				11	04	8 36
役員B 横山 明彦						
役員C 水貝 保						得点
役員D 飯村 裕志						前半 後半 合計
1 石塚 雪華						
2 石井 満里奈						
3 赤川 樹理						
4 辻 沙絵						1
5 佐久間 香奈					F	4
6 岩淵 いかみ	X			T		3
7 木村 也東						
8 赤川 里央				T	T	4
9 山崎 遥						1
10 河野 絵真				F	T	5
11 緑川 愛梨						
12 山本 佳子						
合計				8	10	18

B 大阪府	警告	退場	失格	チームタイムアウト		
				前半	後半	合計
役員A 白鳥貴子				14	17	20 47
役員B 繁田 順子						
役員C 中村 美恵子						得点
役員D 河野 英利香						前半 後半 合計
1 清水 朋花						
2 永田 美香				F	T	5
3 猪原 晋予						2
4 松井 優佳	X			T		2
5 上田 聖菜					T	3
6 山口 千恵				F		3
7 木村 有沙					F	6
8 宇野 史織						
9 多田 葉奈子				F	X	7
10 田代 亜紗				T		3
11 田邊 理紗						
12 藤田 美樹						
合計				16	15	31

タイムキーパー 加藤 彩輝 スコアラー 肥田 彩花

マッチメイカー 大岩 広人 審判員 奥野 洋介 審判員 水谷 有

A	前半	B	後半			
			A	後半	B	
背番	結果	得点	時間	得点	結果	背番
			0 54	1 9		
			3 19	2 10		
6	1 3	48				
10	4 44					
5	5 09	3 6				
8	2 5 31					
	5 43	4 2				
	6 18	W 11				
8	0 3 6 20					
6	7 00					
	7 04	5 0 6				
	7 42	6 9				
10	4 8 09					
	8 28	7 5				
	9 08	8 9				
	11 01	9 9				
⑦	11 04					
	11 33	10 9				
5	5 12 05					
10	6 13 05					
	14 17	⑩				
	14 48	S 11				
10	7 14 58					
	16 20	11 2				
10	7 16 32					
6	S 17 10					
	17 30	12 10				
8	S 19 15					
	21 05	13 9				
	23 18	14 0 3				
	24 29	⑤ 5				
	26 30	S 7				
6	0 8 26 35					
	27 55	15 2				
	29 45	16 0 6				
			18-31			
			8-16			

特記事項

ハンドボール

結果報告

ぎふ清流国体ハンドボール競技

No. 83

大会名	第67回 国民体育大会 ハンドボール競技				
競技日	10月5日(金)	試合記号	B工	回戦	1回戦
種別	少年女子	会場	飛騨・世界生活文化センター		
A(都道府県名)			B(都道府県名)		
茨城県			大阪府		
得点合計	小計		小計	得点合計	
18	8	前半	16	31	
	10	後半	15		
		第1延長(前半)			
		第1延長(後半)			
		第2延長(前半)			
		第2延長(後半)			
		7mTC			

【 戦 評 】

記載者氏名 舟橋 高

1回戦チーム平均身長およそ156cmの茨城県に対し、チーム平均身長167cmを超える大阪府の戦いとなった。開始54秒で大阪府9番多田の速攻で大阪府が先制。その後、速攻や速いボール回しからサイド攻撃。2番永田の180cmの長身を生かしたポストプレーなどで前半36本のシュートを打ち16点を得点した。対する茨城県は、大阪府の高いディフェンスに対してなかなか攻め手を見いだせず、シュート本数も18本と大阪府の半分であった。しかし、茨城県10番河野のアンダーからのブラインドシュートなど巧みな技ありシュートで8点を取り、16対8で前半を折り返す。

後半が始まると、茨城県も大阪府のディフェンスに対応し始め、8分半ばにタイムアウトを取るまで5対5の互角の戦いを繰り広げる。さらに大阪府1番清水、茨城県12番山本の両ゴールキーパーのファインセーブもあり、その点差はどちらかが取るとさらに取り返す展開が続く。点差が10点になったところで大阪府がタイムアウトを取り、2番永田のポストプレーや、9番多田や7番木村の速攻で徐々に点差を広げていき、結果的に31対18で大阪府の勝利となる。